



平成 27 年 5 月 13 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 大 光  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 金 森 武  
(コード番号：3160)  
問 合 せ 先 常 務 取 締 役 管 理 本 部 長 秋 山 大 介  
兼 総 務 部 長  
( TEL. 0584-89-7777)

(訂正) 平成 26 年 5 月 期 第 1 四 半 期 決 算 短 信 [日 本 基 準] (連 結) の 一 部 訂 正 に つ い て

当社は、平成 27 年 4 月 30 日付「社内調査委員会からの調査報告書の受領に関するお知らせ」にてお知らせしましたとおり、過年度決算短信の訂正を進めてまいりました。

このたび、平成 25 年 9 月 30 日付「平成 26 年 5 月 期 第 1 四 半 期 決 算 短 信 [日 本 基 準] (連 結)」の訂正が完了しましたので、訂正内容についてお知らせいたします。

なお、訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後及び訂正前の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には\_を付して表示しております。

以上

(訂正後)



### 平成26年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年9月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社大光

コード番号 3160 URL <http://www.oomitsu.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金森 武

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長兼総務部長 (氏名) 秋山 大介

TEL 0584-89-7777

四半期報告書提出予定日 平成25年10月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

#### 1. 平成26年5月期第1四半期の連結業績(平成25年6月1日～平成25年8月31日)

##### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年5月期第1四半期	10,866	8.3	△114	—	△111	—	△81	—
25年5月期第1四半期	10,035	1.6	△71	—	△59	—	△53	—

(注) 包括利益 26年5月期第1四半期 △83百万円 (—%) 25年5月期第1四半期 △37百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年5月期第1四半期	△13.76	—
25年5月期第1四半期	△9.17	—

##### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年5月期第1四半期	16,914	2,031	12.0	343.01
25年5月期	16,652	2,144	12.9	362.13

(参考) 自己資本 26年5月期第1四半期 2,031百万円 25年5月期 2,144百万円

#### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年5月期	—	5.00	—	5.00	10.00
26年5月期	—	—	—	—	—
26年5月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

#### 3. 平成26年5月期の連結業績予想(平成25年6月1日～平成26年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	21,800	7.0	9	—	14	—	△29	—	△4.94
通期	45,500	5.8	420	92.5	430	68.5	235	171.9	39.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年5月期1Q	6,021,600 株	25年5月期	6,021,600 株
② 期末自己株式数	26年5月期1Q	100,004 株	25年5月期	100,004 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年5月期1Q	5,921,596 株	25年5月期1Q	5,850,074 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権による金融緩和及び財政政策への期待感から円安・株高が進み、輸出環境の改善等の動きが見られております。先行きに関しましては、海外景気の下振れによるリスクが残るものの、回復へ向かうことが期待されております。

当社グループの主要販売先である外食産業におきましては、景気回復による消費者マインドの改善が期待されるものの、消費者の節約志向・低価格志向は根強く、さらに為替の影響等による食品価格の上昇により、厳しい経営環境が継続しております。

このような環境のなか、当社グループでは業務用食品等の卸売事業である「外商事業」において、新規開拓の強化に加え、前連結会計年度に獲得した新規得意先が寄与し、売上が伸びました。また、業務用食品等の小売事業である「アマカ事業」において、既存店舗のリニューアルを行うなど、来店客数の増加に向けた取り組みを進めてまいりました。

両事業におきましては、収益性の向上を図るため、当社プライベートブランド商品や業務用食品販売事業者の共同オリジナルブランド商品の販売強化と全社的な業務の効率化を継続して行ってまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は108億66百万円（前年同期比8.3%増）となったものの、営業強化及び店舗の増加等による人件費の増加や売上増に伴う運搬費の増加等により、営業損失は1億14百万円（前年同期は営業損失71百万円）、経常損失は1億11百万円（前年同期は経常損失59百万円）、四半期純損失は81百万円（前年同期は四半期純損失53百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### (外商事業)

当事業におきましては、商品提案会を実施するなど、既存得意先との深耕に努めるとともに、大手外食チェーンやホテル、レストランなど多様な外食産業に対する新規開拓に注力してまいりました。

また、新たな教育研修を導入し、提案型営業の強化に取り組むほか、物流業務の改善に取り組み、収益改善を進めております。

この結果、外商事業の売上高は66億82百万円（前年同期比10.4%増）となり、営業損失は68百万円（前年同期は営業損失79百万円）となりました。

#### (アマカ事業)

当事業におきましては、より快適にお買いものいただけるよう、平成25年6月に高針店（名古屋市名東区）をリニューアルオープンし、売場や取扱商品の見直しを行うとともに、その他店舗においても、営業活動の強化を図り、客数の増加に努めてまいりました。前連結会計年度に開設した豊橋佐藤店、竹ノ塚店や、ネットショップが売上拡大に寄与いたしました。一方で、店舗の増加及びリニューアルに伴い諸経費を計上したほか、光熱費の上昇等により経費が増加いたしました。

この結果、アマカ事業の売上高は38億70百万円（前年同期比1.8%増）となり、営業利益は2億32百万円（前年同期比13.6%減）となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間末の店舗数は、愛知県・岐阜県を中心として38店舗であります。

#### (水産品事業)

当事業におきましては、連結子会社である株式会社マリンドリカにおいて、外商事業及びアマカ事業との連携を図り、当社グループの水産品ラインナップの強化を推進するとともに、販路の拡大に努めてまいりました。

この結果、水産品事業の売上高は3億13百万円（前年同期比71.5%増）となり、営業損失は37百万円（前年同期は営業損失32百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産残高につきましては、前連結会計年度末と比較して受取手形及び売掛金が2億76百万円増加したこと等により、流動資産は全体で2億68百万円増加しました。一方固定資産は、全体で6百万円減少しました。その結果、資産総額は前連結会計年度末と比較して2億62百万円増加し、169億14百万円となりました。

(負債)

負債残高につきましては、前連結会計年度末と比較して短期借入金が10億11百万円増加したこと等により、流動負債は全体で8億5百万円増加しました。一方固定負債は、長期借入金が4億30百万円減少したこと等により、全体で4億30百万円減少しました。その結果、負債総額は前連結会計年度末と比較して3億75百万円増加し、148億83百万円となりました。

(純資産)

純資産残高につきましては、前連結会計年度末と比較して利益剰余金が1億11百万円減少したこと等により、全体で1億13百万円減少し20億31百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月期の業績予想につきましては、平成25年7月12日に公表しました業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	857,884	836,408
受取手形及び売掛金	3,921,926	4,198,802
商品	2,811,383	2,750,987
貯蔵品	14,231	12,754
繰延税金資産	85,745	117,596
その他	722,432	766,452
貸倒引当金	△18,323	△18,933
流動資産合計	8,395,279	8,664,067
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,119,263	4,071,125
その他(純額)	951,130	979,002
有形固定資産合計	5,070,393	5,050,128
無形固定資産	55,576	54,478
投資その他の資産		
投資有価証券	1,744,406	1,746,194
その他	1,411,007	1,424,202
貸倒引当金	△24,500	△24,765
投資その他の資産合計	3,130,914	3,145,631
固定資産合計	8,256,884	8,250,238
資産合計	16,652,164	16,914,306

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,695,593	4,571,466
短期借入金	2,246,000	3,257,000
1年内返済予定の長期借入金	2,076,986	1,918,576
未払法人税等	51,355	7,252
賞与引当金	127,962	75,343
ポイント引当金	31,706	31,712
その他	590,235	763,863
流動負債合計	9,819,840	10,625,213
固定負債		
長期借入金	3,915,619	3,485,295
退職給付引当金	202,697	205,942
役員退職慰労引当金	232,985	209,380
資産除去債務	243,972	245,225
その他	92,641	112,065
固定負債合計	4,687,915	4,257,909
負債合計	14,507,755	14,883,122
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	475,032	475,032
資本剰余金	378,830	378,830
利益剰余金	1,288,914	1,177,813
自己株式	△33,901	△33,901
株主資本合計	2,108,876	1,997,774
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	35,717	34,242
繰延ヘッジ損益	△183	△833
その他の包括利益累計額合計	35,533	33,409
純資産合計	2,144,409	2,031,183
負債純資産合計	16,652,164	16,914,306



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年8月31日)
売上高	10,035,857	10,866,637
売上原価	8,013,823	8,795,556
売上総利益	2,022,033	2,071,080
販売費及び一般管理費	2,093,922	2,185,208
営業損失(△)	△71,888	△114,127
営業外収益		
受取利息	3,435	3,090
受取配当金	2,070	2,996
受取賃貸料	10,724	10,836
受取手数料	4,445	4,757
受取和解金	11,464	—
その他	7,748	11,436
営業外収益合計	39,889	33,118
営業外費用		
支払利息	12,936	12,832
賃貸費用	9,606	9,434
固定資産除売却損	3,228	5,841
その他	1,495	2,375
営業外費用合計	27,266	30,482
経常損失(△)	△59,265	△111,492
特別利益		
投資有価証券売却益	85	—
特別利益合計	85	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△59,180	△111,492
法人税、住民税及び事業税	2,266	2,287
法人税等調整額	△7,806	△32,285
法人税等合計	△5,539	△29,998
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△53,640	△81,494
四半期純損失(△)	△53,640	△81,494

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△53,640	△81,494
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15,999	△1,474
繰延ヘッジ損益	42	△649
その他の包括利益合計	16,042	△2,124
四半期包括利益	△37,597	△83,618
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△37,597	△83,618
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年6月1日 至平成24年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	外商事業	アミカ事業	水産品事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,051,058	3,801,924	182,875	10,035,857	—	10,035,857
セグメント間の内部売上高又は振替高	3	5,355	9,281	14,639	△14,639	—
計	6,051,061	3,807,279	192,156	10,050,497	△14,639	10,035,857
セグメント利益又は損失(△)	△79,626	269,405	△32,521	157,257	△229,146	△71,888

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△229,146千円は、当社の本社経費等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年6月1日 至平成25年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	外商事業	アミカ事業	水産品事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,682,276	3,870,701	<u>313,660</u>	<u>10,866,637</u>	—	<u>10,866,637</u>
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	9,225	31,143	40,368	△40,368	—
計	6,682,276	3,879,926	<u>344,803</u>	<u>10,907,006</u>	△40,368	<u>10,866,637</u>
セグメント利益又は損失(△)	△68,395	232,700	<u>△37,957</u>	<u>126,347</u>	△240,475	<u>△114,127</u>

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△240,475千円は、当社の本社経費等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な事項はありません。

(訂正前)



## 平成26年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年9月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社大光

コード番号 3160 URL <http://www.oomitsu.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金森 武

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長兼総務部長 (氏名) 秋山 大介

TEL 0584-89-7777

四半期報告書提出予定日 平成25年10月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年5月期第1四半期の連結業績(平成25年6月1日～平成25年8月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年5月期第1四半期	10,978	9.4	△112	—	△111	—	△81	—
25年5月期第1四半期	10,035	1.6	△71	—	△59	—	△53	—

(注) 包括利益 26年5月期第1四半期 △83百万円 (—%) 25年5月期第1四半期 △37百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年5月期第1四半期	△13.76	—
25年5月期第1四半期	△9.17	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年5月期第1四半期	16,914	2,031	12.0	343.01
25年5月期	16,652	2,144	12.9	362.13

(参考) 自己資本 26年5月期第1四半期 2,031百万円 25年5月期 2,144百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年5月期	—	5.00	—	5.00	10.00
26年5月期	—	—	—	—	—
26年5月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年5月期の連結業績予想(平成25年6月1日～平成26年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	21,800	7.0	9	—	14	—	△29	—	△4.94
通期	45,500	5.8	420	92.5	430	68.5	235	171.9	39.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年5月期1Q	6,021,600 株	25年5月期	6,021,600 株
② 期末自己株式数	26年5月期1Q	100,004 株	25年5月期	100,004 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年5月期1Q	5,921,596 株	25年5月期1Q	5,850,074 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権による金融緩和及び財政政策への期待感から円安・株高が進み、輸出環境の改善等の動きが見られております。先行きに関しましては、海外景気の下振れによるリスクが残るものの、回復へ向かうことが期待されております。

当社グループの主要販売先である外食産業におきましては、景気回復による消費者マインドの改善が期待されるものの、消費者の節約志向・低価格志向は根強く、さらに為替の影響等による食品価格の上昇により、厳しい経営環境が継続しております。

このような環境のなか、当社グループでは業務用食品等の卸売事業である「外商事業」において、新規開拓の強化に加え、前連結会計年度に獲得した新規得意先が寄与し、売上が伸長いたしました。また、業務用食品等の小売事業である「アマカ事業」において、既存店舗のリニューアルを行うなど、来店客数の増加に向けた取り組みを進めてまいりました。

両事業におきましては、収益性の向上を図るため、当社プライベートブランド商品や業務用食品販売事業者の共同オリジナルブランド商品の販売強化と全社的な業務の効率化を継続して行ってまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は109億78百万円（前年同期比9.4%増）となったものの、営業強化及び店舗の増加等による人件費の増加や売上増に伴う運搬費の増加等により、営業損失は1億12百万円（前年同期は営業損失71百万円）、経常損失は1億11百万円（前年同期は経常損失59百万円）、四半期純損失は81百万円（前年同期は四半期純損失53百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### (外商事業)

当事業におきましては、商品提案会を実施するなど、既存得意先との深耕に努めるとともに、大手外食チェーンやホテル、レストランなど多様な外食産業に対する新規開拓に注力してまいりました。

また、新たな教育研修を導入し、提案型営業の強化に取り組むほか、物流業務の改善に取り組み、収益改善を進めております。

この結果、外商事業の売上高は66億82百万円（前年同期比10.4%増）となり、営業損失は68百万円（前年同期は営業損失79百万円）となりました。

#### (アマカ事業)

当事業におきましては、より快適にお買いものいただけるよう、平成25年6月に高針店（名古屋市名東区）をリニューアルオープンし、売場や取扱商品の見直しを行うとともに、その他店舗においても、営業活動の強化を図り、客数の増加に努めてまいりました。前連結会計年度に開設した豊橋佐藤店、竹ノ塚店や、ネットショップが売上拡大に寄与いたしました。一方で、店舗の増加及びリニューアルに伴い諸経費を計上したほか、光熱費の上昇等により経費が増加いたしました。

この結果、アマカ事業の売上高は38億70百万円（前年同期比1.8%増）となり、営業利益は2億32百万円（前年同期比13.6%減）となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間末の店舗数は、愛知県・岐阜県を中心として38店舗であります。

#### (水産品事業)

当事業におきましては、連結子会社である株式会社マリンドリカにおいて、外商事業及びアマカ事業との連携を図り、当社グループの水産品ラインナップの強化を推進するとともに、販路の拡大に努めてまいりました。

この結果、水産品事業の売上高は4億25百万円（前年同期比132.6%増）となり、営業損失は36百万円（前年同期は営業損失32百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産残高につきましては、前連結会計年度末と比較して受取手形及び売掛金が2億76百万円増加したこと等により、流動資産は全体で2億68百万円増加しました。一方固定資産は、全体で6百万円減少しました。その結果、資産総額は前連結会計年度末と比較して2億62百万円増加し、169億14百万円となりました。

(負債)

負債残高につきましては、前連結会計年度末と比較して短期借入金が10億11百万円増加したこと等により、流動負債は全体で8億5百万円増加しました。一方固定負債は、長期借入金が4億30百万円減少したこと等により、全体で4億30百万円減少しました。その結果、負債総額は前連結会計年度末と比較して3億75百万円増加し、148億83百万円となりました。

(純資産)

純資産残高につきましては、前連結会計年度末と比較して利益剰余金が1億11百万円減少したこと等により、全体で1億13百万円減少し20億31百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月期の業績予想につきましては、平成25年7月12日に公表しました業績予想に変更はございません。



2. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	857,884	836,408
受取手形及び売掛金	3,921,926	4,198,802
商品	2,811,383	2,750,987
貯蔵品	14,231	12,754
繰延税金資産	85,745	117,596
その他	722,432	766,452
貸倒引当金	△18,323	△18,933
流動資産合計	8,395,279	8,664,067
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,119,263	4,071,125
その他(純額)	951,130	979,002
有形固定資産合計	5,070,393	5,050,128
無形固定資産		
55,576		54,478
投資その他の資産		
投資有価証券	1,744,406	1,746,194
その他	1,411,007	1,424,202
貸倒引当金	△24,500	△24,765
投資その他の資産合計	3,130,914	3,145,631
固定資産合計	8,256,884	8,250,238
資産合計	16,652,164	16,914,306

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,695,593	4,571,466
短期借入金	2,246,000	3,257,000
1年内返済予定の長期借入金	2,076,986	1,918,576
未払法人税等	51,355	7,252
賞与引当金	127,962	75,343
ポイント引当金	31,706	31,712
その他	590,235	763,863
流動負債合計	9,819,840	10,625,213
固定負債		
長期借入金	3,915,619	3,485,295
退職給付引当金	202,697	205,942
役員退職慰労引当金	232,985	209,380
資産除去債務	243,972	245,225
その他	92,641	112,065
固定負債合計	4,687,915	4,257,909
負債合計	14,507,755	14,883,122
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	475,032	475,032
資本剰余金	378,830	378,830
利益剰余金	1,288,914	1,177,813
自己株式	△33,901	△33,901
株主資本合計	2,108,876	1,997,774
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	35,717	34,242
繰延ヘッジ損益	△183	△833
その他の包括利益累計額合計	35,533	33,409
純資産合計	2,144,409	2,031,183
負債純資産合計	16,652,164	16,914,306

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年8月31日)
売上高	10,035,857	10,978,422
売上原価	8,013,823	8,905,926
売上総利益	2,022,033	2,072,495
販売費及び一般管理費	2,093,922	2,185,208
営業損失(△)	△71,888	△112,712
営業外収益		
受取利息	3,435	3,090
受取配当金	2,070	2,996
受取賃貸料	10,724	10,836
受取手数料	4,445	4,757
受取和解金	11,464	—
その他	7,748	10,021
営業外収益合計	39,889	31,703
営業外費用		
支払利息	12,936	12,832
賃貸費用	9,606	9,434
固定資産除売却損	3,228	5,841
その他	1,495	2,375
営業外費用合計	27,266	30,482
経常損失(△)	△59,265	△111,492
特別利益		
投資有価証券売却益	85	—
特別利益合計	85	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△59,180	△111,492
法人税、住民税及び事業税	2,266	2,287
法人税等調整額	△7,806	△32,285
法人税等合計	△5,539	△29,998
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△53,640	△81,494
四半期純損失(△)	△53,640	△81,494

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△53,640	△81,494
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15,999	△1,474
繰延ヘッジ損益	42	△649
その他の包括利益合計	16,042	△2,124
四半期包括利益	△37,597	△83,618
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△37,597	△83,618
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年6月1日 至平成24年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	外商事業	アミカ事業	水産品事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,051,058	3,801,924	182,875	10,035,857	—	10,035,857
セグメント間の内部売上高又は振替高	3	5,355	9,281	14,639	△14,639	—
計	6,051,061	3,807,279	192,156	10,050,497	△14,639	10,035,857
セグメント利益又は 損失(△)	△79,626	269,405	△32,521	157,257	△229,146	△71,888

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△229,146千円は、当社の本社経費等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年6月1日 至平成25年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	外商事業	アミカ事業	水産品事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,682,276	3,870,701	425,445	10,978,422	—	10,978,422
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	9,225	31,143	40,368	△40,368	—
計	6,682,276	3,879,926	456,588	11,018,791	△40,368	10,978,422
セグメント利益又は 損失(△)	△68,395	232,700	△36,542	127,762	△240,475	△112,712

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△240,475千円は、当社の本社経費等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な事項はありません。